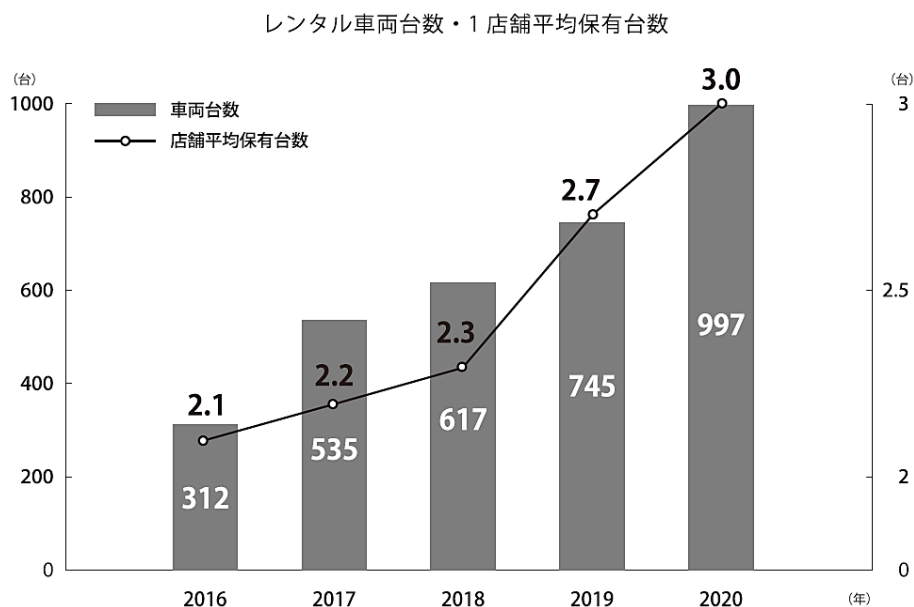


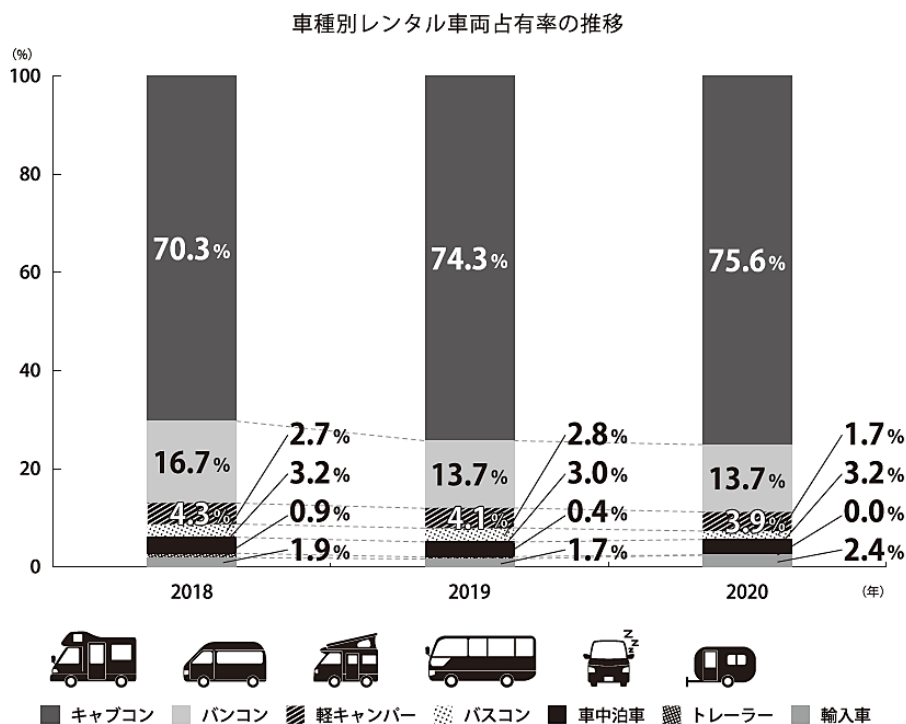
② レンタルキャンピングカーネット掲載店舗数の保有台数

レンタル車両は2019年から2020年にかけて大きく増加、1店舗当たりの保有台数も増加しています。新車の導入が加速し、店舗アンケートでは「すべて新車で揃えている（26.2%）」「一部車両は新車で導入（27.9%）」と約半数を占めています。



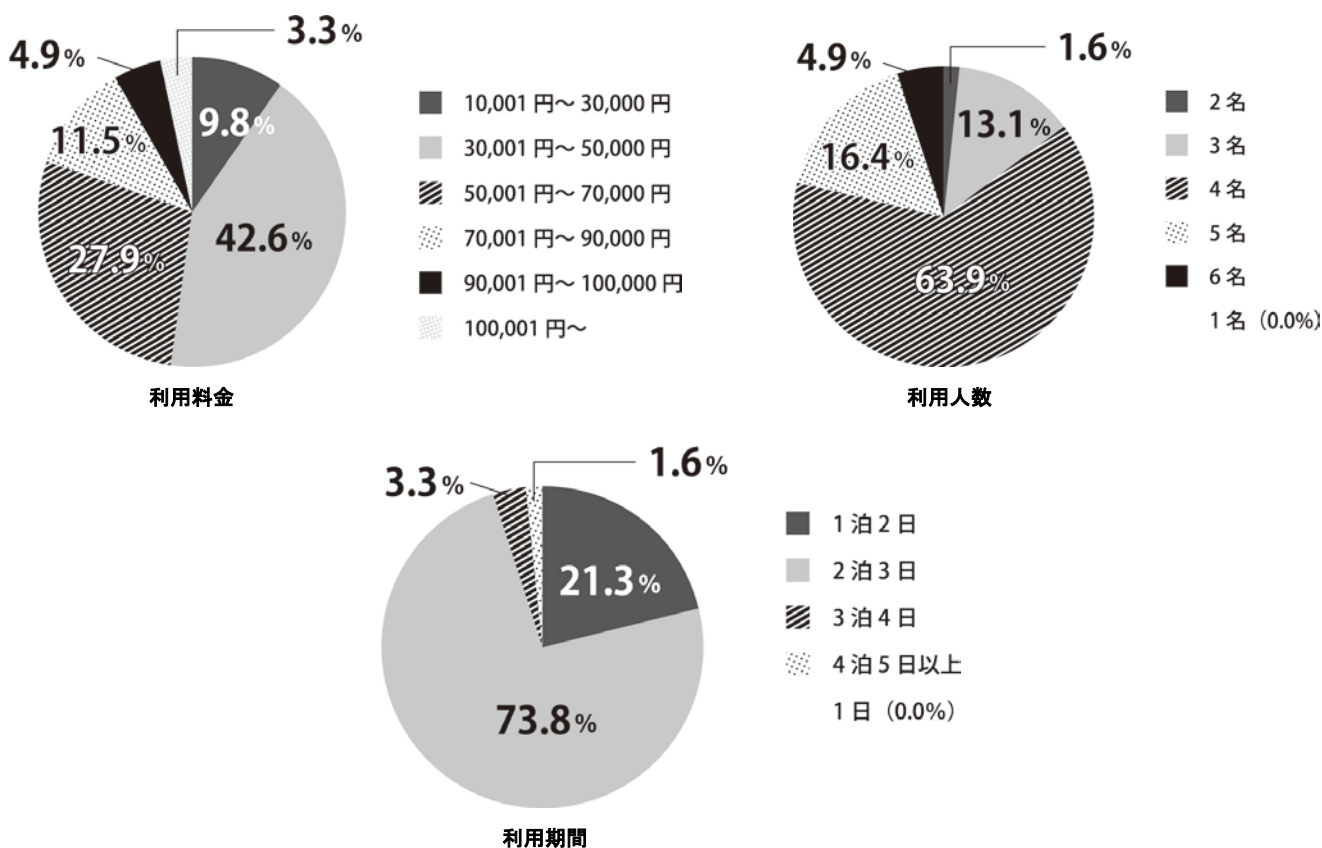
③ レンタルキャンピングカーネット掲載店舗のレンタル台数の車種別データ

キャブコンタイプがシェアを拡大、輸入キャンピングカーのレンタル台数も増加しています。キャブコンは大手ビルダーの車種に人気集中しています。輸入キャンピングカーについては専門のレンタル事業者が登場するなど、差別化が進んでいます。レンタル事業者とキャンピングカービルダーによる「レンタル専用車両」の開発も行われています。



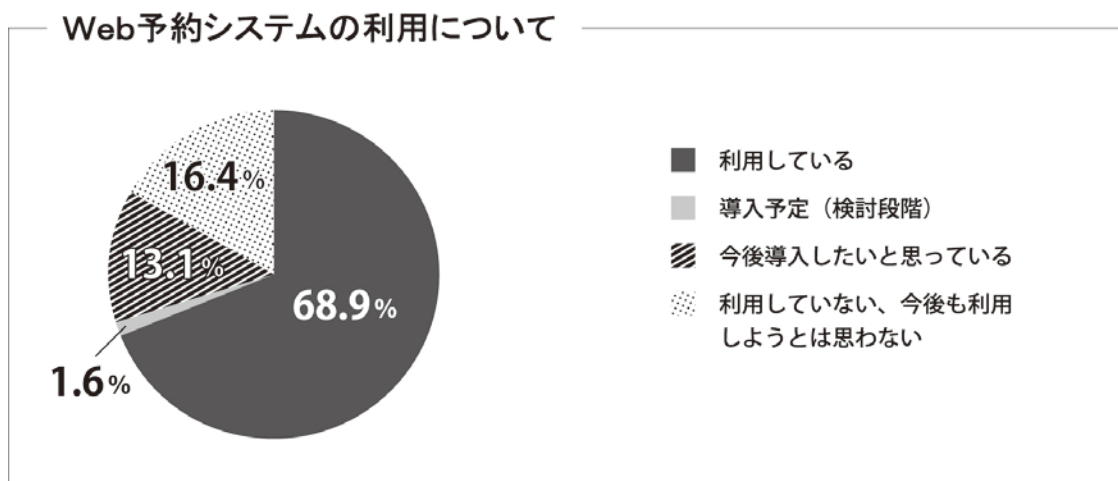
④ レンタルキャンピングカーの利用料金、人数、期間

事業者アンケートの結果は下記グラフの通りですが、ユーザーアンケートでは利用料金2万円～3万円（26.1%）、利用期間は1泊2日（41.0%）が最も多く、結果に差がありました。また利用人数もユーザーアンケートの方では2名利用（27.6%）と3名利用（20.1%）が多いという結果でした。コロナ後は密を避け2・3名で利用する方が多くなり、利用期間も長期化していることが事業者への取材により明らかになりました。



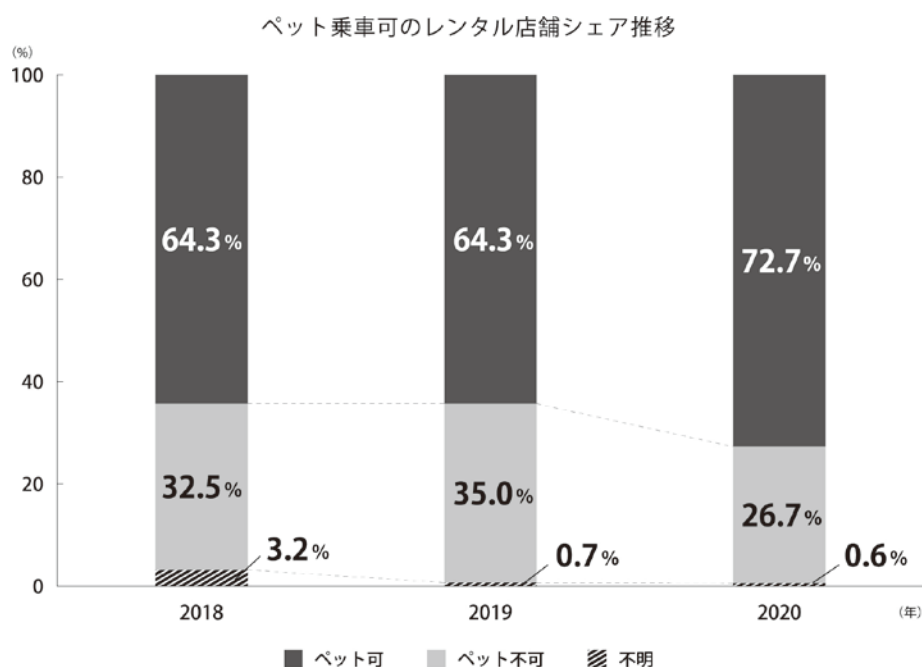
⑤ 保有台数の増加に伴い Web 予約システムの導入増加

Web 予約システムの導入率は68.9%と約7割を占めていました。さらに「導入予定（検討段階）」「今後導入したいと思っている」を合わせると、回答事業者の83.6%と大半を占める結果になりました。予約業務の効率化を目指す事業者が多いことが分かります。



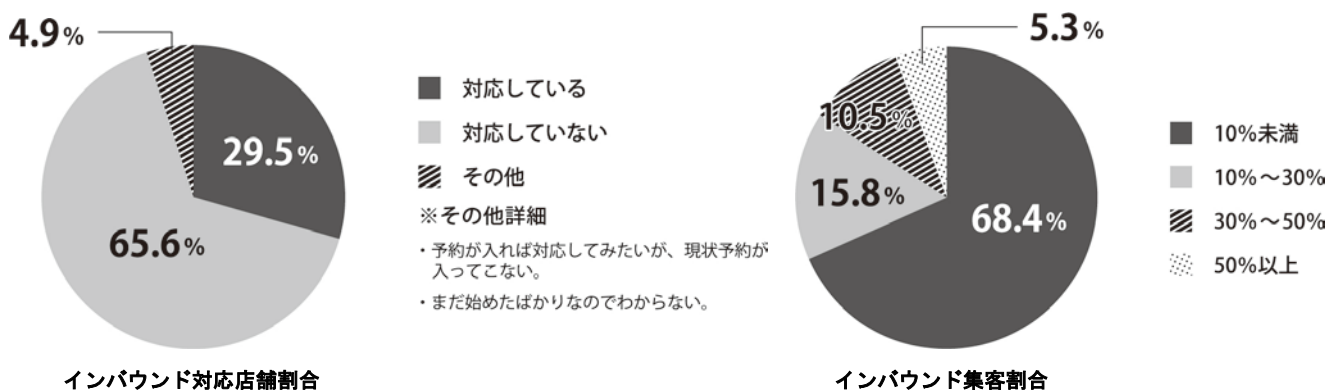
⑥ ペット乗車可の車両を保有するレンタル店舗が増加

2018年から2020年までのペット乗車可のレンタル店舗シェア推移を見ると、ペット乗車が可能な車両を保有する店舗が増えていることが分かります。1店舗当たりの保有台数増加により、ペット乗車可の車両を設定する店舗が増えてきています。



⑦ 求められるインバウンド対応

2019年のインバウンド利用状況をリサーチした結果、インバウンドに対応している店舗は29.5%であることが分かりました。コロナ禍でインバウンド需要がほとんど止まってしまいましたが、来年開催される東京2020オリンピックに向けてサービスを充実させていく必要があります。



⑧ リピーターの獲得が業界の課題

ユーザーアンケートでは、レンタルキャンピングカーの利用回数が1回のみという回答が回答者全体の72.4%を占める結果となり、リピート率が極端に低いことが分かりました（その他、2～4回19.4%、5～10回6.0%、10回以上2.2%）。キャンピングカーレンタル市場が今後も成長を続けていくうえで、リピーターの獲得が大きな課題になっています。

その他詳細データは「レンタルキャンピングカー白書 2020 ～事業者の現状と市場動向～」（全 64 ページモノクロ 定価 5,000 円税込）にて紹介しています。

本お知らせに関するお問い合わせは、下記までご連絡願います。

〒150-0012

東京都渋谷区広尾 1-9-16 ITO 広尾ビル 4F

TEL. 03-5421-2171 FAX. 03-5421-2179

Mail. car@rental-camper.jp

アイビル株式会社 レンタルキャンピングカーネット事務局

「レンタルキャンピングカー白書 2020」編集担当（滝口）まで